



一宮町長
馬淵 昌也

京葉線のダイヤ改正で、朝晩の通勤時間に、上総一ノ宮駅発着の京葉線経田の快速・通勤快速を廃止し、各駅停車東京行きにするという案が提起され、わたくしが反対の声を上げています。これは、町のみなさまご存知だと存じます。

それに関して、1月19日に、ネットTVのABEMA PrimeとUstreamのニュース討論番組にゲストとして出演しました。これは、2ちゃんねる創設者のひろゆき氏、元明石市長の泉房穂氏といった論客を中心に、話題のニュースを取り上げ、意見を交わすというものです。

わたしくとして、なぜこの千葉県知事や千葉市長でなくてわたくしが呼ばれるのか不可解でしたが、地方の声を伝える絶好のチャンスと考え、出演を快諾しました。ただし、ひろゆき氏の口頭の主張などから考えると、JRは採算上の計算によって赤字解消のために合理的な判断をしたのに、田舎の町長が金も出さずになにを生意気なことをいつてるんだという話になると思つて、みなさんに総攻撃を受けるだろうと考えていました。

結果として、ひろゆき氏の主張は予想通りでしたが、番組を通じて、なかなか

に面白い論点が明らかになりました。これは、共演者であった榊ライトルールの阿部等氏が仰っていたのですが、JR千葉支社は、今回のダイヤ改正は、収支改善のためのものではない、と明言しているそうです。つまり、赤字削減のための改正ではないのだそうです。また、JRの意見では、京葉線内の乗車率を平均化するために快速をなくす、というのですが、停車駅を調整することで、快速を残して乗車率の平均化は実現できるということです。このふたつの論点はいへん重要で、であれば、上総一ノ宮からの快速をなくすことも、JRが目指す目的を十分達成できるということなので、変更をお願ひすることは、全く問題がないということになりませぬ。

また、泉房穂氏は、明石市長のときに、JRと協定を結び、協議の場を設定したと仰っていました。これまで、一宮町は、JRと仲良くお付き合いをし、協力をしてきましたが、協議のための協定は結んでいませんでした。これは、千葉県内でも同じです。今後、千葉市や茂原市を先頭に、明石市の例に学んで、協定を結ぶところまで進めれば、と考えています。